# 题加胜勿隐意思

企業の持っている「商品力」「得意技」をご紹介するコーナーです。 これにより、「新商品開発」や「販路開拓」の促進に役立てて戴ければと考えて おります。

企業名	丸羽経編株式会社
住 所	石川県鹿島郡中能登町久江7部17番地2
代表者	代表取締役 羽部敏徳
事業内容	ニット(トリコット)製造業
問い合わせ先	TEL 0767-77-2221

## 【会社概要】

昭和39年、父である羽部征治氏が経編み製品 (トリコット)の製造を開始。

昭和61年車両内装材の生産を開始した。平成 22年には第二工場を増築、生活資材向けを生 産。現在、衛生資材だけでも生産量は月産150 万㎡となる。

## 【社長紹介】

「このままではメイドインジャパンがなくなってしま う! あと5年、10年あるか?もうすぐそこまで

来ている。」と開口一番に業界の危機感について言及された。現社長の羽部敏徳氏は 平成17年父征治氏より社長を引継いだ。社長就任当時から、自社の人材育成に注 力し、繊維業界の将来は技術継承と人材育成を第一に捉えて、社長自ら自社の人材 育成はもちろんのこと、同じトリコットを扱う企業に対して技術指導に全国を回る。ト 「コットを扱う企業は北陸3県に多いが、時には四国まで赴きボランティアで指導する こともあると聞いた。

### 【得意技】

ファッションはトレンドへの対応が難しいとみた羽部社長は早くから車輌用途向けに生 産をシフトした。第二工場は生活資材に特化し国内外で特許も取得した。特に、近年 の高齢化により衛生資材は堅調である。車輌資材、生活資材共に毎年微増で推移し ておい、昨年2台の編機を増設。一般的に資材用途は単価が低いとされるが、自社独 自の工夫で編機を調整、機械メーカーでも推奨しないパーンで機械をまわすため、誰 にも真似できないものづくりが出来る。

#### 【今後の目標】

20年前から人材育成・後継者育成は、実務をこなしながらでは覚える事ができな い!育たない!と、無理があると感じていた。OJTには教える方教えられる方両方に メリットがあり有効であるが、専門職を育てるには教育だけに絞ったプロジェクトを立 ち上げたいと考えている。

「これからの若い人たちに対してやりがいのある産業として継承していけるように」 と、中能登町の繊維企業と役場での会議にも参加している。地域の活性化につなが ればと、中能登町の未来を描く。

2017年:1号





#### 今号の内容

- 三越伊勢丹向け商談会開催
- ・米国市場調査・ベトナムサプライチェーン調査報告
- ・『織物欠点解析の体験講座』開催
- ・若手社員セミナー開催

一般社団法人 石川県繊維協会

石川県金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館2階 http://www.ita.or.jp tafric@ita.or.ip

株式会社繊維リソースパレかわ

# これまでの活動報告

# 三越伊勢丹向け商談会を開催致しました。

去る1月23日(月)、24日(火)の2日間にわたり、三越伊勢丹会議室(東京)にて商談会を開催致しました。当日は、大西社長をはじめ婦人、紳士、雑貨を中心としたバイヤー約60人が来場し、2017FW向けの素材提案を行いました。産地側の参加企業は下記の通りです。

参加企業11社、1団体

天池合繊(㈱、ウーブンナック(㈱)、KAJIGROUP、(㈱カメダ、(㈱シモムラ、(㈱太陽、武部工房、 何)ハルテック、(㈱福富、丸井織物(㈱)、(㈱ムツミテキスタイル、北陸繊維産地企業連携グループ





# 米国市場調査・ベトナムサプライチェーン調査報告について

「米国とTPP加盟国を代表してベトナムの状況を調査し、これらの課題点を明確にすることで北陸 繊維産地企業の事業戦略策定に有意義な情報をまとめ、広く情報を発信していくこと」を目的に、経済 産業省補助事業として、日本化学繊維協会が実施したものです。

TPPについては先行き不透明な状況になりましたが、米国にどのような高機能・高性能テキスタイルの需要があるのか等の観点から「米国市場調査」を実施し、またチャイナ+1として繊維投資が急拡大し加工基地として注目される「ベトナム現地企業調査」を実施した結果について3月14日(火)に報告会を開催しました。講師は、米国については秋葉多聞氏(東レ(株)経営企画室)、ベトナムについては山本洋一氏(株)クラレ企画管理部)。これらの調査結果は、大手繊維企業の社長会でも報告されました。資料希望の方は、(株)繊維リソースいしかわまでご連絡下さい。

# 『織物欠点解析の体験講座』開催

去る3月2日(木)能登テキスタイル・ラボにて織物欠点の解析方法を石川県工業試験場神谷研究主幹を講師に招き指導して頂きました。

参加企業数:5社、7名

内 容:見た目や風合いの違いから顕微鏡などで検査し、原因究明、特定することによって、再発を防止します。自社の解析技術を製品の品位の維持、向上につなげることを目的とした講座です。





# これからの活動予定

# 若手社員セミナー開催

毎年開催しております、若手社員セミナーの内容が決定致しましたので、下記の通りご案内申し上げます。受講を希望される方は㈱繊維リソースいしかわまでお申し込み下さい。

### ● 繊維基礎入門講座

開催日:平成29年4月6日(木)10時~17時

会 場:地場産業振興センター新館1階コンベンションホール

講 師:石川県工業試験場 繊維生活部 (予定)

内 容

①糸の説明

②織物・編み物の話

③生地の染め方・加工付加の話

④生地の品質評価の話

⑤工業試験場内見学



作年の試験場内見学の様子

\*この研修は毎年好評で、若手社員の方に糸から繊維製品になるまでの各工程の基礎を学び、工業試験場を見学してもらうことによって、繊維産業への興味を深めて頂くことと、異業種間の若手社員同士の交流を深めて頂くことを目的としています。

#### ●マナー研修

開催日:平成29年4月7日(金)9時30分~17時15分

会 場:地場産業振興センター本館2階第1研修室

講師:オフィス・マインドルージュ 藤田由美子氏 他3名

内 容

①組織・企業とは《グループワーク》

②社会人としてのビジネスマナーの基本《ロールプレイング》

③社会人として求められるビジネスコミュニケーション 《ロールプレイング》

(4)仕事のすすめ方の基本《事例研究》

⑤電話応対(内線対応含む)の基本《ロールプレイング》



昨年のマナー研修の様子

また、当日は新社会人の皆様に対して、『消費者トラブルから身を守る』との演題で金沢弁護士会の弁護士にご講話頂きます。

(石川県消費生活支援センターの出前講座です。)

# ●「繊維企業連携新素材支援事業補助金」公募のご案内

~県域を越えた中小企業連携による新素材開発・販路開拓に対する支援~

公募期間:平成29年3月21日(火)~4月21日(金)

事業目的:固有の技術やノウハウを有する繊維企業が県域を越えた連携の下で行う新素材開発(試作、

研究開発、評価等含む)及び販路開拓(新素材の販路開拓を図る目的での展示会等の開催ま

たは出展等)

補助対象者:石川県または福井県内に主たる事業所を有し、繊維産業を営むうち、原則、中小企業者で構

成された連携体(各県1者以上、合計3者以上)

補助金額上限: 1,000万円以内(下限100万円)

補助率:補助対象経費の2/3

補助期間:採択後、平成30年3月31日までお問い合わせ:(㈱繊維リソースいしかわ

#### \*お知らせ

4月1日から従来の繊維リソースワーキング室が繊維会館1Fへ移動します。